

スポーツをとおした地域参加を目指して

～ 部活動から生涯スポーツへ ～

北海道中札内高等養護学校幕別分校 教諭 長谷地 翔

I はじめに

本校は、平成 25 年度に北海道中札内高等養護学校の分校として北海道幕別高等学校の校舎内に開校した職業学科の高等支援学校である。今年度の総生徒数は 35 名で、帯広市を中心に周辺の地域から自主通学をしている。

本校のクラブ活動は、スポーツ部と文化同好会の 2 つがある。開校 3 年目に 1、2、3 学年が揃い、スポーツに興味関心のある生徒が集まり、スポーツ同好会が設立された。当初は、生徒たちが行う活動（主に球技を中心としたスポーツ全般）を提案し、スポーツを楽しむことを目的として取り組んでいた。

大会参加の実績や活動状況も考慮され、一昨年度からスポーツ部として活動している。現在は、11 名の部員と 8 名の顧問で、週 1～2 回、本校体育館や地域の施設を使用して活動し、地域のミニバレーボールや管内のフットサルの大会、小野寺眞吾杯北海道特別支援学校フットサル大会に参加している。

II 研究テーマ設定の理由

本校は単科 2 間口の小規模校で生徒数が少ないため、特定の競技を部活動として立ち上げることが難しく、活動できる競技や試合も限られている。部員数も少なく、練習の中で試合を行うときは教員が入ることで成立する。活動を続けることで、楽しむことを目的としていたが、モチベーションの維持が難しい様子が見られた。

そのため、同年代や地域の方との対外試合や交流を望み、目標や目指すものを明確にするため、町の広報や HP 等から参加できそうな大会を探し、参加するようになった。2 年間の同好会活動では、管内のフットサル大会やミニバレー大会に参加することができた。

また、本校は通学型の高等養護学校のため、全生徒は徒歩や公共の交通機関を利用して通学している。卒業後も多くの生徒が自宅のある地域の中で生活していく。そのような本校の実態も踏まえ、校内での活動だけでなく、地域の大会等への積極的な参加をとおして、部活動の活性化や地域との交流を図り、これからも地域と共に、幅広くスポーツに親しみ、生涯に渡って続けられるようになってほしいと考えた。

この実践をとおし、地域の理解やスポーツをとおした社会参加が広がり、誰もが生涯に渡って身近にスポーツに親しめる環境や体制づくりにつながってほしいと考える。

III 研究方法と研究内容

1 研究方法

地域で行われている大会等への参加をとおして、地域との関わりの様子や生徒の変容から可能性を検証した。

2 研究内容

(1) 幕別町町民ミニバレー交流大会

同好会 2 年目から幕別町町民ミニバレー交流大会に参加している。初めて参加を申し込んだときには特別支援学校の生徒が大会に参加することが初めてということで、幕別町ミニバレー協会の会長が来校し、練習の様子を視察してくださった。その結果、生徒の実態に合わせ、交流大会では一般の出場者と試合を楽しめるように、生徒・教員チームは 4 点が加点される特別ルールを設ける配慮をしていただけた。

大会では、参加している対戦チームの方々が、本校生徒のプレーを褒めたり、アドバイスをしてくれたり、好意的に受け入れてくれている様子が多く見られた。また、参加賞の賞品も生徒に合わせたものにしていただくなど、主催者

や大会に参加している地域の方々に生徒の実態や活動状況を理解していただけている。このような中で、生徒はこの交流大会への参加をとおりして、試合で負けたり失敗してもめげず、何よりも楽しんで活動することができている。

今後、協会の方が学校に赴きミニバレーの指導をする話もいただいているため、機会があればお願いしたいと考えている。

（２）幕別町主催のフットサル大会、中札内村主催のフットサル大会

両大会には地域の職場のチームや社会人チームを中心に参加しており、また、以前から地域の中学校や特別支援学校も参加している。

そのため、他の参加者の方々の理解も深く、生徒のレベルに合わせてプレーしていただくこともある。例えば、パスコースを空けてパスが通る場面を作ったり、ゴール前ではシュートする機会をくれたりと、試合の中で生徒が練習の成果を発揮できる場面が見られる。

また、他のチームの連携プレーや豪快なシュート、巧みなドリブルなど目を引くようなプレーを見て、憧れや目標となり、普段の練習の意欲につながっている。そのような目指す姿と、現状のチームの課題を分析し、練習メニューに取り入れて実践している。

（３）パークゴルフの活動

幕別町はパークゴルフ発祥の地であり、地域の方の競技人口が多く、様々な大会も行われている。

例年６月に行なわれる北海道知事杯パークゴルフ国際大会には地域の方をはじめ、小中高生や全国各地、海外の方々も多く参加している。本校からもスポーツ部の生徒を中心に、毎年５名程度の生徒が任意で参加している。

また、本校の学校行事としてパークゴルフ授業があり、本校と幕別高校の生徒が合同で行っている。ここでは、幕別町パークゴルフ協会の方に指導員として来ていただき、生徒と一緒にプレーをしている。

このパークゴルフ国際大会やパークゴルフ授業では、地域スポーツであるパークゴルフをとおりして、たくさんの交流がある。プレー中にア

ドバイスをくれたり、クラブの持ち方や振り方、パットの狙い方等、技術的な指導もしてくれている。また、大会の参加者や協会の方々が、生徒に合わせた教え方や話し方で接してくれる等、地域の理解が広がっているとともに生徒達も地域に溶け込み活動している様子が見られる。

Ⅳ 実践研究の成果と今後の課題

１ 実践研究の成果

２ 実践研究の今後の課題